中小規模事業所向け

地球温暖化対策報告書制度における新たな取組について

【資料内容】

- 1 第1回検討会でのご意見について
- 2 再生可能エネルギー等について

1 第1回検討会でのご意見について

ご意見1:原単位を改善した事業者の取扱いについて

事業者の削減分布状況で、第四象限(CO2排出量が増加・原単位が改善)の事業者も考慮し、評価・公表することについて検討が必要

ご意見2:評価にあたっての削減水準について

ランクを付与される事業者の割合も踏まえ、水準の検討が必要

ご意見3:任意提出者(大企業以外)の評価の仕組みについて

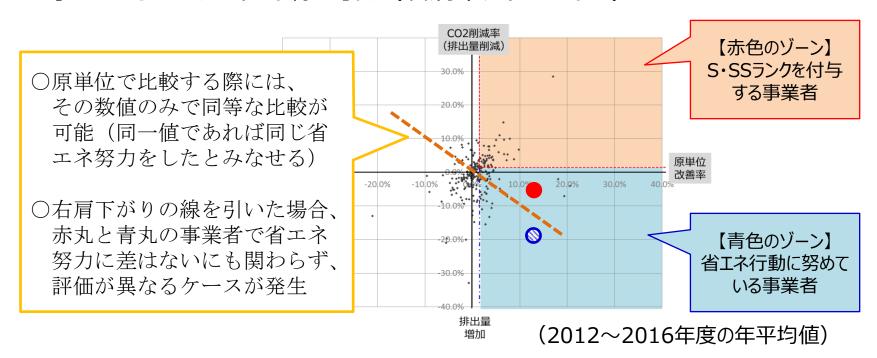
中小企業でもしっかりとやっている事業者はいると思うので、そういったところも 評価できる制度の検討が必要

ご意見4:一般都民等に対するアピールについて

一般の人が良く使う身近な施設が多いことから、ランクが与えられた際には、店舗に貼りだすことができる等、事業者がアピールできる仕組みの検討が必要

【ご意見1】: 原単位を改善した事業者の取扱いについて

- ■原単位は改善しているが、延床面積の増加等の理由により、CO2排出量が増加した事業者について考慮する
- ○事業者の原単位改善率が一定(1.3%)以上である場合、省エネ行動に努めている事業者として扱う(S・SSランクのランクとは別に取り扱う)
- ○同一の原単位改善率である事業者は、同一レベルでの省エネ行動に努めていると 考えられるので、垂直な線を引く(右肩下がりではない)



【ご意見2】: 評価にあたっての削減水準について

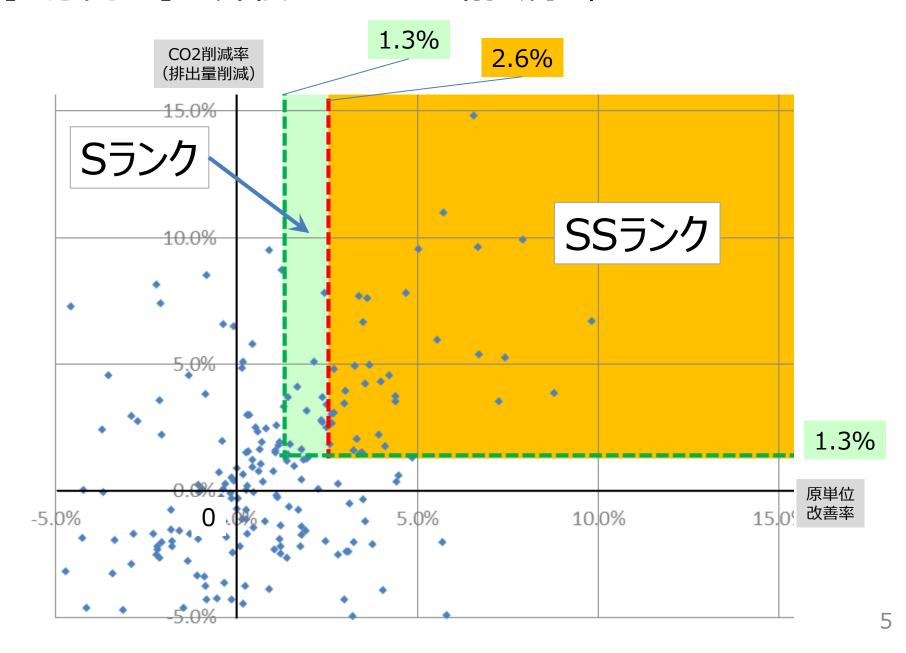
■ ランクを付与する削減水準を複数区分設定するとともに、評価区分の表示方法を工夫する。

	ンク付与 排出量及び原単位が水準以上)	評価ランク	水準案	全体に占める割合
	特に優良な削減実績を達成した者	SS	排出量削減率(直近5カ年の平均)が 1.3%以上、かつ、原単位改善率(直近5カ年の平均)が2.6%以上	14.4%
•	優良な削減実績を達成した 者	S	排出量削減率(直近5カ年の平均)が 1.3%以上、かつ、原単位改善率(直近5カ年の平均)が1.3%以上2.6%未満	6.4%

(2012~2016年度の実績を使用)

※2030年目標の達成に向けて、より多くの企業が省エネ行動に努め、ランクを取得する企業の割合が増えていくことが望ましい。

【ご意見2】: 評価にあたっての削減水準について



【ご意見3】: 任意提出者の評価の仕組みについて

- ■一定の条件を設け、任意提出者を対象に、別途、要綱に基づいた 評価の仕組みを導入する
- ○制度の特性を踏まえ、条例・規則とは別の要綱に基づき、義務提出者と同様の 評価の仕組みを導入
- ○条件の例
 - ✓都内の全ての事業所についての報告を行っていること
 - ✔ 複数年連続で提出していること

【ご意見4】:一般都民等に対するアピールについて

- ランクを付与された事業者が、所有する事業所に掲示できるツールを 提供する
- ■都のHPでの公表に加え、一般都民、投資家等に向けた情報発信の 方法等を工夫

2-1 再生可能エネルギー等について

【報告書への反映(CO2排出量の数値)】

○事業所ごとに再生可能エネルギー等の導入状況(導入の有無)に関する 報告事項を設ける

	現状	今回の改正案
低炭素電力の受入	・導入状況の 報告なし	・導入状況の <mark>報告あり</mark> ・CO2排出量の数値への反映なし
証書による環境価値の利用	・CO2排出量の数値への反映なし	
再エネ発電設備の設置	・導入状況の報告なし ・自家消費の場合、買電量減少に よりCO2排出量が減少	・導入状況の報告あり ・自家消費の場合、買電量減少に よりCO2排出量が減少

※また、事業者単位での「再生可能エネルギー等の導入によるCO2削減量」等の目標値及び実績値(概算)を報告できるように様式を整備する予定

2-2 再生可能エネルギー等について

【再生可能エネルギー活用のPR】

○すべての事業所に占める導入事業所数の割合に応じて加点(☆)を付与し評価

<算定方法>

上記3つのいずれかの取組を実施している事業所を「再エネ導入事業所(仮称)」とし、事業者が設置しているすべての中小規模事業所数に占める再エネ導入事業所数の割合を算定(※複数の取組を実施している場合も1事業所として算入)

	現状	今回の改正案
取組状況の発信	・特になし (特記事項に自由記載する事業 者あり)	・すべての事業所に占める導入事業所数の割合に応じて<mark>評価</mark>・別途要綱により、表彰制度等の導入を検討